

ビジョン	自分自身でやりたいこと	地域の仲間とやりたいこと	小山市と共創したいこと	他地区と連携してやりたいこと	優先順位
目的型地域循環交通の整備と移動型サービスの融合 自転車を車内に持ち込めるサイクルラックバスや駐輪場の整備などバスを利用しやすい工夫が施されています。AI デマンドバスや電動小型車のグリーンスローモビリティの導入で移動の利便性が向上しています。また、移動販売車や診療車の巡回で高齢者の生活支援が進み、県南市場では地場産品を使ったイベントが開催され、地区の魅力を高めています。	・病院やスーパーの送迎ボランティアへの登録		・高速が近いため接道や施設の充実があっても良い ・常設じゃない診療所を週に何日かでもいいので作ってもらいたい ・おーバスのバス停を下泉にも設置を検討してほしい。 ・高齢になると買い物に不安があるため、移動販売車にきてもらいたい		
魅力ある農業への変革と持続性の確立 スマート農業の導入により、省力・低コストで高品質な農産物の生産を実現し、生態系に配慮した水路整備により、ほたるや生き物の保全と農業用水の確保が両立しています。ハウス栽培の ICT 管理や栽培マニュアルにより、新規就農者でも安定した生産が可能になりました。組織体系と雇用形態が確立し、作業計画や農機具稼働状況の見える化などの省力化が図られ、安定収入や休暇の確保が実現しています。また、農業初心者向けの農業スクールの開催により、就農の門戸が広がり、担い手不足が解消されています。	・現在は兼業だが、退職後は専業としてやっていきたい。	・米の加工品等の観光農園を運営したい			
多世代の交流が紡ぎ出す、愛着ある魅力的な地域 中小学校の空き教室は、高齢者と子どもが触れ合う多世代交流拠点としてリニューアルされ、中地区社会福祉協議会では、小さな困りごとに対して‘これだけ’を地域で解決するボランティア「だけボラ」による助け合いが活発で、住民の豊かさにつながっています。学校施設を使った地元学生の研究活動は、子どもたちの夢を描くきっかけになり、食事の時間は地元食材が並	・公民館の行事（公民館まつりや各種講座など）に積極的に参加したい ・高齢者のサポートとして民生委員と連携してのだけボラを充実させたい。	・廃れた祭りのリバイブでなく現在盛り上がっている祭りを活性化したい ・地区の運動会は再びやっても盛り上がるのでは ・いずれも子どもを呼びたい、そうすれば親や祖父母も来る（多世代同居多い） ・小山市でも取り組みをしているが、それでも足りない部分をみんなで補いたい ・魚藤でのゆうゆう祭りを続けていきたい。 ・まちづくり団体などでイベントを企画	・学校や公民館施設の老朽化に対し予算措置を ・少子化対策、若い人の県外流出対策 ・学校の空き教室を使って放課後に高齢者が子どもたちの面倒をみるような交流ができればいい。中小カラフルタイムを住民にも拡大し交流拠点に	・3 小学校の統合は不可避、先例として絹義務連携（学び）したい ・中地区の自治力を活かし、既に関係は良い寒川と穂積と上手くやりたい ・また中小は俳句の発表も秀逸、ここでも連携したい ・近くの栃木市の地区や小山市内の近隣地区と合同でお見合いパーティーを開催 ・中小学区内での運動会の再開	

ビジョン	自分自身でやりたいこと	地域の仲間とやりたいこと	小山市と共創したいこと	他地区と連携してやりたいこと	優先順位
び、家族のような温もりを生み、食育や心の成長にもつながっています。		してやってみたい(栗宮のまちづくりが西堀酒造などでイベントを行うのを見た。中にも杉田酒造があるからできるのではないか。) ・おはやしを続けたい ・各地域の公民館を活用してイベントなど開催したい。昔は夏祭りなど開催していたが、なくなってしまったのでお祭りをやりたい ・多世代が集える場所をつくりたい			
空き家の再生と自然を生かしたにぎわいの創出 ほたる再生活動が自然環境教育として根付き、学びの場が広がっています。住民が集うカフェやこどもたちの居場所として空き家を改修し、そこでは市民農園の食材が使用され、地産地消の食の循環が生まれています。また、公民館での移住者と農地のマッチングや、ふるさと納税の返礼として農業体験が提供され、移住促進につながっています。さらに、神社では移住者と地元住民が交流するマルシェが開催され、売り上げは神社修繕や倒木対策など保全に活用され、次世代への継承に寄与しています。	・生活圏は栃木市（大平）も、ホタル橋をフックとして何かやりたい ・以前やっていた子どもたちと一緒にバードウォッチングの会を復活させたい	・空き家を活用して地域に理解のある人を呼び込みたい。農業をしたい人に特に来てもらいたい。県で農業を学んだ人など就農者と農地のマッチングなど。新しく農業を始めた人が年間を通して収入ができるように、イチゴや野菜、米と組み合わせなどみんなで協力したい ・蛍を観る会を学校関係者だけでなく住民も参加して盛り上げたい	・巴波川の水質改善や法面の草刈りをお願いしたい（地元は人手がない） ・巴波川の芝焼を行いたい。	・中小の特徴であるホタル育成をハブに他地区とも絡みたい ・蛍を観る会はコロナ前は来賓招待していたので、他地区の人も呼び込みたい	
そのほか	・他地区から見ると恵まれた環境、今のままでよい（プライドをもって）	・住民同士で防犯の意識を持つ。地域の目が防犯へ、高齢者の1人暮らしの見守りにもつながる	・人口減対策のため市営住宅を誘致したい ・市街化調整区域を改革したい。 ・工業団地を作って若い人を呼び込みたい。 ・防災スピーカーが聞こえない場所もある（特に荒天時）。LINE などでも随時情報発信してほしい		